

# 令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.7.29(月)

事業コード	24-G-02	学校名	可児市立東明小学校		住所	可児市久々利1945
実施日	6月14日(金)13:10~15:25			受講児童生徒数	73名(5年生35名/6年生38名)	
開講職種数	5職種	指導者数	8名	参観保護者数	0名	

## 学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください  
→ ・職人や技能者について、知らない、縁遠い児童が多く、まず選択肢としてもあがらない。本事業で、本物に触れたり、事前の取り組みとしてのさまざまな職業を調べたりすることで、知ることができることは、大きな成果であると考えます。

## 会場担当教員アンケートの結果（5会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか  
①大変よく伝わった →                       ②ある程度伝わった →   
③あまり伝わらなかった →                       ④全く伝わらなかった →
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください  
→ ・子ども達へは、諦めずに努力することや目標を持ち続けることの大切さを、指導し続けたいと思います。(寝具製作会場)  
・経験の少なさが課題だと思います。特に3年生以上はコロナ禍のため様々な活動が制限されていました。今回のような体験活動を多く取り入れていくことが、これから必要になってくると思います。(建築大工会場)

## 指導者アンケートの結果（5職種の各代表）

- 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった   
②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった   
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった   
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった
- 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・未来の技能者育成事業をもっと拡大していくには多くの小学校(岐阜県の小学校351校)にこの制度を利用するため、文科省から通達を出してもらい、各小学校に2~3年に1回は体験授業に参加するよう促すと良い。現状では意欲のある校長先生が希望している。国や県が強制的に拡充する方向にいくと良い。(電子機器組立て職種)

・キャリア教育を積極的に取り入れている学校が増えている中、講師としてご指名いただき、ありがたく思っています。これからはAIのような人工知能が世の中を席卷し、多くの仕事がロボットに奪われていく時代になろうとしています。仕事を通じて人との“繋がり”を大切にしている私たち職人にとって、自分にしかできない仕事であることに誇りを持っています。そして、仕事とはそうあるべきだと常日頃から感じています。この事業を実施することで改めて原点に立ち返り、自分自身を見つめ直す良い機会にもなっています。私たちの仕事に対する考え方・向き合い方など多くの子どもたちにとって欲しいです。(寝具製作職種)

・若手技能者不足は建築大工でも同じです。大工職にかかせない「平方根」は中学校で習いますので、中学校での体験講義をした方が良いと思います。大工道具であるカンナ・ノコギリはもちろん、金づちの使い方も教えたいです。私は講話の中でさしがねの寸法の秘密を説明していますが、時間があれば仕様なども教えたいです。(建築大工職種)

・ものづくり体験授業を学校ですることはとても良いことだと思う。量のことを分らない大人も多い中、量に接することの少ない子供たちは、イベント等でミニ畳づくりを真剣に行っています。時間潰し程度の大人とは全く違い、知らないことを知ろうとする真剣な眼差しや姿勢には、私たちも何かを期待したいと思うほどです。職人を目指そうと思う子供たちが出てくるきっかけになるよう、この事業が続くことを期待しています。(畳製作職種)

・ものづくりの分野の職種や魅力・やりがいを伝える機会がとても少なく、学校でこのような体験授業を行えることは貴重な機会です。子供の頃の経験や記憶が将来の職業の選択に繋がることも多く、日本の優れたものづくりの継承のためにも、ぜひこの事業を継続・拡充していただきたいです。(フラワー装飾職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

	電子機器組立て	寝具製作	建築大工	畳製作	フラワー装飾
指導者数	1	1	3	2	1
受講児童生徒数	15	15	12	15	16
回答	とても満足した	12	15	9	15
	ある程度満足した	3	0	2	0
	あまり満足できなかった	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	1	0
合計	15	15	12	15	16

		合計(左:人 右:%)	
指導者数		8	
受講児童生徒数		73	
回答	とても満足した	64	87.7
	ある程度満足した	8	11.0
	あまり満足できなかった	0	0.0
	満足できなかった	1	1.3
合計		73	100

## 電子機器組立て会場の様子



### 先生の感想

- ・自分たちが普段使っている電気をつくるのが、こんなにも大変なんだと、「電気」というものへのありがたみを感じている児童が多かったです。また、はんだごてなどを使って、自分だけのオリジナル風車を完成させて、達成感も味わうことができました。
- ・体験を通して、普段使うことのないはんだ等の道具を楽しく使うことができました。限られた時間の中で、これからやりたいことを決めていく児童にとって、大切な考え方などを体験を通して教えていただくことができました。また、はんだごてなど、子どもたちにとってなじみの少ない道具の使い方を丁寧に教えていただきました。
- ・ただし、説明の内容が小学生には少し難しかったように感じました。

### 児童生徒の感想

- ・楽しかったけど、ハンダで固めるのが難しかった。LEDは電池なしでも工夫によって点灯できることを初めて知ることができた。風で風車が回ると同時にLEDが光るのがすごかった。
- ・組立ての部分がとても多く大変だったけど、完成して出来上がったのを見るととても楽しく感じた。
- ・電子機器がとても身近な存在であることを知り、ビックリした。
- ・初めてペットボトルの風車を作って難しかったけど、6年生が教えてくれたり勝野先生が手伝ってくれたりしたので楽しかった。
- ・講師の方の「人は失敗して成長する」という言葉が特に印象に残った。とても大事なことだと感じたので、この言葉を大切に生きていこうと思った。

## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

講師吉田先生に、寝具製作のご指導をいただきました。

講座の初めに、講師の方から仕事の内容や仕事への思いなどについて伺いました。寝る場所や部屋の環境、誰と寝ているか、お客様の体形等、一人一人に合わせてこだわった布団を作られていること。布団の中に入れる綿自体も、何種類もの綿をブレンドして、商品に合わせて変えていることなど、人生の1/3を過ごす寝具だからこそ、こだわって作られていることを子どもたちに伝えていただきました。

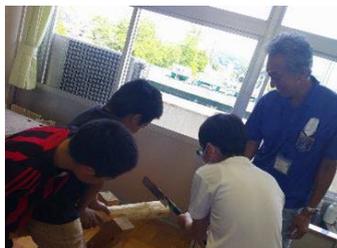
体験としては、綿を切ったり重ねたりして座布団の中身を作り、ご用意いただいた袋(座布団生地)に入れました。口は、ミシンで縫って下さいました。講師の方が分かりやすく教えてくださったり手伝ってくださったこともあり、全員完成させることができ、大変満足気でした。

最後に、サラリーマンを10年勤めてから、寝具職人なられたことや、今に満足せずよりよい寝具を作っていきたいという心意気を伺い、やりたいことを職業にする素晴らしさに気付いた様子でした。大変勉強になりました。5年生家庭科の学習で、玉結びを習得できるよう努めます。

### 児童生徒の感想

- ・中に綿を詰めて、角を尖らせるところがすごかった。どうやったら上手くなるのか聞きたかった。
- ・座布団を作るだけでも大変なのに、吉田先生はこのミニ座布団の3倍の大きさのものを25分で作ると仰られていてビックリした。元々看護師さんになりたかったけど、寝具製作も良いと思った。
- ・実際に目の前でやりながら作り方を教えてくださったので、自分がやるときにスムーズにできた。
- ・初めはただの四角形の綿だったけど、色々教えてもらった通りにしていたら、よく見る座布団になったのでビックリしました。先生が座布団を作る速さがとても速かった。
- ・先生の考え方の中ではこだわりがきちんとあって、それを作るときに毎回行っているのがすごいと思った。
- ・話していた内容や実演をパッパとこなすところから、やっぱり職人さんはすごいなと思った。

## 建築大工会場の様子



### 先生の感想

・のこぎりで木を切る体験では、刃の入れ方や、力の入れ方を丁寧に教えていただき、子供たちが熱心に取り組む姿が見られました。また、のこぎりを引く時に木が動かないよう、子供たちみんなで協力して押さえる様子や、互いに「がんばれ！」と声を掛け合う姿から、実際の仕事現場でも多くの人が協力し合って作業していることを実感できたと思います。

・鉋がけでは削りたての木の香りを体験することで自然への親しみの心が育ちました。あまりの良い香りに子供たちも感動していました。また、自分の名前を書いてからその表面を削り取ることで、うれしいおみやげもできました。今回の体験の記念となり、建築大工の仕事への興味も増したと思います。

・ペン立ての製作は自分がのこぎりで切った丸太を使って行いました。電動ドリルを初めて使う子がほとんどなので、少し怖がる子もいましたが、マイスターさんがしっかりと手を持って一緒に電動ドリルの穴あけ作業をしてくださったので安心して活動することができました。時間に余裕があったので、「もう一つ作ってもいいよ」と声をかけていただいたときには、怖がる姿もなく、みんな喜んで、積極的に2個目に挑戦していました。自分の作ったペン立てに丁寧にやすりをかける姿から、大切にしようとする気持ちが伝わってきました。

・職業講話では大工道具や建物の造りを教えていただきました。大工道具では数学的な内容もあり、少し難しかったです。使い方の実演をしながら説明してくださったので、子供たちも興味を持って聞くことができました。また、建物の造りの話では6年生が修学旅行に行く京都や奈良の建築物についても写真を提示しながら話してくださり、子供の関心が強くひかれていました。

・自分だけのペン立て製作、自分の名前が残る鉋がけと子供たちの興味を引く内容が多く取り込まれていたと思います。また、のこぎり体験で切ったものがペン立てになっていくという、一つ一つの作業が学びある中で形となって残っていくという無駄のない流れとなっており、教師としても学ぶべきところが多かったです。

・安全に気を付けて、誰一人けがをすることなく活動できたことがよかったです。やはり、子供の安全が第一と考えるので、細部にまで気を付けていただいていることがよく分かり本当にありがたかったです。

### 児童生徒の感想

・木を切るときに1回目はまあまあだったけど、2回目は1回目より上手と言われて嬉しかった。

・丸太を切ったり、カンナで木を削るのが上手くできたし、楽しかったからまたやってみたい。モニターで建築の様子やどういう構造になっているのかを説明してくれたので、分かりやすかった。

・大工の方はたくさん事を考えて仕事をやっているんだなと思った。

・難しいことがたくさんあったけど、釘を1本も使わずに建物を造れることなどが知れてビックリした。木を切ったりするのが難しかったけど、サポートしてくれたから上手にやる事ができた。

・家などの柱の立て方が印象に残りました。

## 畳製作会場の様子



### 先生の感想

・自宅に和室・畳がないという児童も増えてきている中で、畳のことや畳のよさ、畳づくりについていねいに教えていただけたことで、畳(畳づくり)について興味をもつことができた。

・畳打ちの体験では、長い針を使って、分厚い畳をぬっていくこと、特に下から上へ縫う時に真っ直ぐ狙ったところに針を打つことの難しさを体感し、ものづくりの難しさや講師の方々の技術の高さを実感することができた。

・ミニ畳づくりでは、色や柄が様々な畳おもてや畳ベリがあり、畳の多様性やその組み合わせのおもしろさ、ものづくりの楽しさを味わうことができた。

・体験後の質疑応答やまとめのお話から、畳製作の職人としてのやりがいや大変さについて、学ぶことができた。

・スライドや資料をもとに説明を聞いたので、分かりやすかったです。

・畳職人としてのやりがいや苦勞、大切にしていること、あるいは、畳職人になるための行程、小学生の内に大切にしておきたいことなど、“人”を中心とした講話だとさらに児童は興味をもって聞くことができるかもしれません。(講話や質疑応答で話してはいただけました。)

### 児童生徒の感想

・針で畳の端を縫うところがとても印象に残った。ミニ畳を作るときの畳用のホチキスで作業をするところがとても気持ちよかったので、もっとやりたかった。

・畳の部屋で勉強すると、良いことがあると聞き、ビックリした。畳表を縫うのが少し難しかったけど、思ったより畳は硬くなかった。

・畳製作の内容や説明がわかりやすかったし、少しゆっくりめに話をされていたので聞き取りやすかった。畳打ち体験のときに、わからないことがあったらすぐに教えてくれたので良かった。

・色や模様を選べるのが良かった。畳は冬は暖かく、夏は涼しくしてくれたり、こけても大丈夫なのがビックリした。

・講師の方に直々に畳について話してもらい、大変分かりやすかった。実際に「平縫い」というものをやらせていただいたことがとても印象に残った。

## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

・実際に、写真だけではなく、花束を作る場所を見せていただきながら説明をしていただいたので、子どもたちはとても興味をもつことができた。指導者が、一瞬で大きな花束を作られたのを見て、大変感動していた。また、作りたい花束のイメージによって、使う花を選んだり、花の長さなどを決めたりしていることも教えていただいた。

・花は、人の気持ちによりそってくれるものであり、会話（コミュニケーション）を助けてくれるものであるというお話や、花をより美しく見えるように工夫しているというお話を聞いて、仕事に対する情熱を感じた。

・体験では、子どもたちが製作する壁掛けを、ひとつお作りながら説明をしてくださった。特に注意する点については、一斉に指導し、全員ができたことを確認してくださったので、失敗することなく進めることができた。子どもたちが主体的に楽しく活動することができ、それぞれ満足する作品を製作することができた。

・子どもたちは、指導者の仕事に対する思いを聞くだけではなく、実際に自分で体験することができたので、授業を通してたくさんの学びがあり、充実した貴重な時間になった。

・作品が、子どもたちが扱いやすいドライフラワーだったこと、自主性を大切にできる素材だったことがよかったです。作り方を教えていただけたことで、見通しをもって臨むことができました。作った作品は、この先ずっと飾ることができるため、子どもたちの心に残る体験になったと思います。機会があれば、来年度もぜひ実施したいです。ありがとうございました。

### 児童生徒の感想

・リボンを作るのが早いし、きれいだったことが印象に残っている。写真付きで説明してもらって分かりやすかった。

・結婚式・お葬式などの花もお花屋さんが作っていることにビックリした。

・思っていた以上に簡単にでき、キレイに可愛くできたので良かった。

・フラワー装飾の職業講話で、画像を使って説明してくれたからすごく分かりやすかった。花束を作るときに、2種類の花だけできれいな花束を作っていたのですごいと思った。

・とてもきれいにでき、フラワー装飾をまた来年やってみたい。楽しかったので、フラワー装飾の仕事をやってみたいと思った。

・初めてフラワー装飾の体験をしてみて、しっかりできるか不安だったけど、自分の納得のいくもののできたので良かったし、花の位置を決めたり、袋の色を選ぶ作業が楽しかった。

・フラワー装飾で花束を作るとき、花をまっすぐに立てて作るより、斜めにして作ったほうがふんわりしてキレイに見えることが印象に残った。